

ゼンソク治療の専門病院を紹介して

私の家には3才と5才の女児がおり2人とも「ゼンソク」気味です。1カ月の治療代は5,000円から1万円かかります。私の家の子どもは、近所の子どもよりもすこしからだが弱いかも知れません。然し近所の子どもの3人に2人は同じような状態です。言葉を換えれば特に丈夫で無い子は「ゼンソク持ち」です。特にからだの弱い子はそのため昼間も部屋に引きこもる状態

です。これではよけい体力が弱くなり、病気も悪くなるばかりです。富士市の大気汚染について今さら申し上げるまでもありませんので省略します。そこでお願ひです。すこしごらいお金がかかつてもかまいません。完全に治す事の出来る病院を紹介して下さい。夜な夜な「セキ」に苦しむ我が子を見るのは、親としてこれ以上苦しい事は有りません。（横割1・主婦）

市立富士中央病院でも治療、検査を

昔は、ゼンソクが3才から5才くらいまでに起り、大きくなるにしたがつて治ると言われていました。しかし、最近は小学校高学年になつてから起るなど、医学的にも割りきれないものがあります。

ゼンソクが起きる原因は、第1にかかりやすい素質というものを無視できません。この素質の中でもアレルギー体質というものが、大部分を占めています。

原因についての研究は相当進んでいますが、残念ながらきめ手がないと言われています。しかし、症状とアレルゲンとは深い関係があるので、まず患者はアレルゲン検査を受けることが必要です。

近くの検査機関としては、富士市立中央病院、共立蒲原病院、日赤静岡病院な

どがあります。また、専門病院としては国立小児病院二宮分院（神奈川県中郡二宮町）、国立相模原病院（神奈川県相模原市上鶴間）、同愛記念病院（東京都墨田区横綱町）などがあります。

一度検査を受け、医師に相談して見てはいかがですか。また、小児科専門医院で診てもらうのもひとつ的方法かと思います。

富士市立中央病院の場合は、昨年12月から毎月第1、第3金曜日に国立小児病院からアレルギー科の専門の先生が来院して、アレルゲン検査などを行なっています。診察は午前9時から、午前中に外来診察と治療、午後はアレルゲン検査を行なっています。しかし、多くの患者がいるため、診察は予約制を取っています。初めて診察を受ける場合は、2~3日前に必ず小児科の一般外来を受けていただきます。

ぜんそくとは…

ゼンソクの治療には、減感作療法、細菌ワクチン、インターリンガンドなどいろいろありますが、一番大切なことは、親や回りの人の理解と本人の努力です。どんな病気にでも言えることですが、この気持ちがなくては病気を克服する道はひらけません。

ゼンソク発作とは、気管支をとりまいている平滑筋という筋肉がけいれんを起こしたり、気管支内の粘膜がはれて、肺の中の空気の通りが悪くなり、ヒューヒューと笛のような音を出して息苦しくなつてくる呼吸困難な状態です。これをくり返しておこす病気がゼンソクです。発作の程度とおこす間隔によつて、この病気の重さが分けられます。

市外へ通院していたのが 近くなりおお助かり

この日アレルギー検査を受けていた小学校5年生の男の子の母親は「5年前に県外から十兵衛に引つ起してきて、2カ月ぐらいでゼンソクの発作が起つた。それまでは病気もしないで、元気だつた子どもが急に発作を起し、最初は原因がわからず途方にくれました。

の病院まで通つて治療を受けていた。しかし、昨年から中央病院でもゼンソクの治療を受けられるようになりほんとによかつた。

治療を受け 薬をもらうようになつてからはだいぶよくなり、8時間ぐらい続いた発作もすぐにおさまるようになつた。まだ低気圧が近づくと、ときどき発作が起るので、早く完全に治してやりたい。」と訴えていました。



【毎月第1、第3金曜日に
中央病院でアレルゲン検査が】

市の医療救済制度も一番はじめに認定され、これまで、静岡や相模原